

夢のたねを楽校おもせ



令和8年6月16日(火)第6つづ

志(こころざし)のたね

6月も中旬となりました。いつも本校の子供たちを温かく見守り、応援していただきありがとうございます。お陰様で、面瀬の子供たちは、ますます元気に学習に遊びに励んでいます。

さて、6月は「体験」を伴った学習活動が目白押しです。

本校はESD(Education for Sustainable Development:持続可能な開発のための教育)スタート校として、持続可能な社会の担い手を育成すべく、様々な教科・領域を通して、体験的な学習活動に取り組んでいます。

1年生の生活科での学校探検から始まり、2年生での学校のまわり探検、そして、3年生と4年生は総合的な学習の時間で「面瀬川」にて生き物調査や環境調査を行い、5年生は「海」をテーマに岩井崎で生き物調査を行います。そして、6年生は「気仙沼」を包括した学習テーマを設定し、25日からいよいよ会津若松への修学旅行に出発します。

身近な場所の学びから県外に視野を広げた体験的な学びへ。小学校の教育課程を一つずつ積み上げてたどり着いた修学旅行。その修学旅行では、会津の町並みや歴史と文化に加え、白虎隊士や野口英世さんなど、「人」の生き方や思いにも触れる予定です。

右は世界的な細菌学者「野口英世」さんが19歳で医師を目指して上京する際に、生家の床柱に刻んだ言葉です。

「志を得ざれば再び此地を踏まず」

不退転の決意と志を持って上京した野口英世さんの思い。そして息子を思う母シカさんの手紙にも触れてきます。

一つ一つの「体験」を通して、面瀬の子供たちにも「こうなりたい」「こうしてみたい」といった“志(こころざし)のたね”が着実に成長していきます。

「体験」という栄養をもとに、また、ぐんとたくましく成長する面瀬の子供たちから目が離せません。

ルー＼(^0^)/ルー おもせっこ～ (^0^)

